

会費振込先 第一勧銀川崎支店東北大学ワンダーフォーゲルOB会 普通口座(370-1881604)

「日本百名山」をおえて

—— 筑波山から羊蹄山まで ——

三日月道夫(1969年卒)

いつの事にだったか深田久弥著「日本百名山」の本を手にしたのは。それまではあてもなく山歩きをしてしていたのが、読んでいるうち自分でもやればできそうな感がありこれ以後の山歩きは 達成が一つの目標となっていきました。1964年8月にはじまり1988年7月までの 25年かかってようやく完了することができたのです。我ながらよくできたものだと思います。北は利尻岳から南の宮ノ浦岳まで日本各地を訪れ 四季折々の自然の美しさに巡り合うことができ大いに感謝しているところです。

よく一番よかったのは何処ですかとの質問をうけますが 山にはそれぞれの趣があり、季節による景色の違い、天気による違い、登ったときの体調・心状態による感じかたの違い等があり いちがいに何処が一番よかったとはいことが出来ません。著者は記憶に新しい最近に登った山が一番印象深くみえると述べていますが 一つの答えとして同感できるところがあります。ただ登ったすべての山について、今でも鮮明に思い出ことができるときおり地図を見たり、写真を見たり、山の本を読みながら、思い出にふけています。

夏の大雪山連峰は赤、黄、青、白の色とりどりの広大なお花畑あり、池あり、残雪ありで吹く風もこちよく時折シマリス君も顔をだし歓迎してくれまさしく天上の樂園です。新緑の東北の山の美しさには目をみはるものがあります。そのなかの山小屋にひとりぼっちで一夜を過ごしたこともありました。北アルプスの秋は静かです。そして上から 新雪紅葉、緑の三段模様は写真以上のものがあります。南アルプスの山塊は雄大です。一山一山を越えるのが一仕事で、また下山路の林道歩きの長さにうんざりでした。大峰山脈には雨がにあいます。うっそうとした原生林を深いガスがつつみ苔むしたその中をひとり歩くと信仰の心がしのべれます。九州の山は常緑の木々がいつでも暖かく迎えてくれました。更に屋久島では九死に一生を得るといふ遭難の苦々しい思い出を作り単独行のおそろしさを痛感させられました。・・・

その後百名山ブームになり「二百名山」なる本をはじめとして いろいろな百名山の本がでてきました。そのなかでの数字にこだわってみると 「二百名山」が 160/200

「一等三角点の百名山」が 66/100, 「花の百名山」が68/100, 「関東の百名山」が 80/100, 「甲州の百名山」が 69/100, 「信州の百名山」が ??/100

「女性の百名山」が 91/100, 「世界の百名山」が3/66 などとなっています。

最近海外にも目がむきはじめ 「世界の百名山」は登るのは不可能としてもせめて
 見るだけでもとおもい チョモランマをながめに行ったり、ヨーロッパアルプスの
 麓を歩いたり、キリマンジャロに登ったりして 仕事の合間を見てリフレッシュをして
 います。これからも唯一の趣味としての山歩きを続けていくつもりです。

「山の岨をかえりみて 一つの山を終えにけり

早も急がる次の山々」 深田久弥

私の「日本百名山」のあしあと			
1964年	8月 筑波山	1975年	9月 空木 10月 谷川
1965年	6月 吾妻 8月 槍ヶ岳、笠ヶ岳 10月 月山	1976年	5月 恵那 8月 遠ヶ岳 9月 鹿島槍、五竜
1966年	5月 蔵王 7月 巻機 8月 平ヶ岳 9月 早池峰 10月 岩手山	1977年	4月 両神 7月 富士山 8月 白山、荒島 9月 白馬
1967年	6月 安達良 8月 間ノ岳、北岳 10月 八幡平	1978年	4月 草津白根 7月 穂高 8月 赤石、荒川
1968年	8月 至仏、磐梯、岩木、八甲田 9月 朝日 10月 鳥海	1979年	4月 大峰、大台ヶ原 8月 光 10月 大山
1969年	3月 霧島、開門 5月 丹沢 7月 会津駒 9月 苗場	1980年	5月 剣山、石植、伊吹 8月 大雪、トマツ、利尻
1970年	1月 大菩薩 3月 雲取 4月 霧ヶ峰、四阿 6月 妙高、火打 7月 武尊、飯豊	1981年	9月 立山、剣
1971年	4月 蓼科 5月 浅間 8月 聖、越後駒 10月 雨飾 11月 那須	1982年	4月 九重、傾、祖母 8月 幌尻
1972年	5月 甲武信、八ヶ岳 7月 木曾駒 8月 甲斐駒、仙丈 9月 皇海 10月 常念 11月 金峰、国師	1983年	4月 宮ノ浦 8月 乗鞍、焼岳
1973年	1月 天城 5月 赤城 8月 塩見 10月 高妻、鳳凰	1984年	8月 阿寒、斜里、羅臼、十勝
1974年	5月 男休、白根 7月 御岳 8月 鷲羽、水晶、黒部五郎、薬師	1985年	5月 美ヶ原
		1986年	5月 阿蘇
		1988年	7月 羊蹄山

夏合宿をふりかえって

日高の思い出

日高P 川俣 奨

札内川8の沢出会にテントを張り、我々の夏合宿が始まりました。カムエクを目指し、札内岳まで縦走しましたが、その間、大パノラマや月光に輝く雲海などに大いに感動させられました。ピリカペタヌを下り、戸蔭別ヒュッテの荷入れ回収では、長い林道を大型トラックの荷台に乗せてもらうことができ、思わぬドライブを楽しみました。戸蔭岳に立ってみると、セツ沼は干上がっており、残念でした。

最終日、ピパイロから伏美岳への縦走の途中、ヒグマの親子がカールに現れました。性格の温かな熊さんらしく、間もなく姿を消しました。今では冗談の一つも出てきますが、その瞬間はさすがに肝が冷えました。入山初日のテントの火災(大事には至らなかった)で不吉な予感がしましたが、波乱万丈に富んだ合宿を、無事終えることができました。

西表島の増水

西表島P 松浦 慎

西表島で思い出すのは、イタジキ川が増水したことです。イタジキ川というのは、ちょうど島の中心部にある浦内川の支流の一つです。この川は、水が伏流になっている巨大な岩盤があったり、背がとどかないプールのような所を首までつかれるような場所もあり、刺激のある場所です。なぜそんなに川が増水したことが印象に残っているかということ、あま

りにも西表島の自然の力が大きくて、非常に心細かったからだと思います。みんな、自分一人でも生き残ろうという気持ちになっていました。

無事に海に見える林道に着いた時の風景は、今でも目に焼き付いています。照りつける太陽に輝く青い海と白い海岸、まさに期待以上の景色でした。色とりどりの魚やサンゴが我々を待っていてくれました。大自然はもちろん、島の人々の暖かい人柄に触れることができた夏合宿でした。

白神山地のブナ原生林

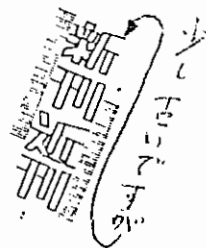
白神山地 P 佐藤 知生

ブナの原生林は、それを目のあたりにした我々を十分圧倒するものでした。一般に、白神山地と呼ばれている山域は、秋田県北部および青森県西部の大部分を網羅する広大なものです。主峰白神岳からの眺望は、西には夕日の沈む日本海、東には見渡す限りの峰々が続き、山域のスケールの大きさを肌で感じ取らせてくれるものでした。

白神の核心部の赤石川では、増水に悩まされましたが、非常に穏やかな溪相で、岩魚を焚火で焼く毎日でした。追良瀬川は、赤石川に比べると険峻でしたが、特別な困難はなく、2泊であっさりと抜けてしまいました。

赤石川、追良瀬川とも、ゴミの投げ捨てが非常に多く、ゴミを見るたびに口惜しい気持ちになりました。いずれにしろ、白神山地はまた訪れてみようと思っています。

河 比 築千 幸良



10期薄木君
の書いた本
です

信 濃 海 日

平成元年(1989年)5月15日 (月曜日)

1989年(平成元年)6月28日(水曜日)

本書は、その間に歩き回った
国立公園や保護地域などの旅
行記、ガイドブックであり、
息吹を、一緒に味わわせてく



著者は国連環境計画・国連
人間居住委員会常駐副代表と
して、一九八四年から三年二
カ月間、ケニアに駐在した。

箱舟の動物たち
— 東アフリカの自然
公園を歩く —

薄木 三生 著

野生動物の保護について、国
立公園の在り方なども考えさ
せられる。

紹介されているのは、ケニ
アの二十一カ所をはじめ、合
わせて二十六カ所の国立公
園、保護地域。ほとんどが、
妻と小学生の長女、幼稚園児
の長男の家族ぐるみの旅行で
ある。それがほのぼのとした
楽しい雰囲気を感じさせる。

ライオン、ソウ、白サイと
（築地街館）東京都中央区
築地二ノ一〇ノ二二一、五
五〇円

「箱舟の
動物たち」

薄木 三生著

アフリカでさ
え滅る種類が

著者は環境庁職員で、一
九八四年から三年余を野生
動物の王国・ケニアで過こ
した。本書は主に国立公園
サファリなどの見聞記だ。
首都の中心部からわずか
七・のナイロビ国立公園、
ライオンやチーターが徘徊
（はいかい）している。そ
こではライオンがレイヨウ
をたおし、肉をむさぼって
いる。さすがアフリカ、野
性が生きている。
こうした国立公園、国立
保護地域など二十六カ所の
動物の思つかいを伝えてい
るが、そんなアフリカも、
日本の象牙大量輸入がやり
玉にあげられてきているよう
に、密猟から年々、動物の
姿が消えているという。
ほかに、水中観察室で見
た潜ったカバは「犬かきを
しているのではなく、水中
をモソモソと歩いていた」
という話もあり楽しい。
（築地街館）B6判 二二
八ページ、一五五〇円

渡辺幸英先輩が書いて
くれた。

7-92 一期後輩の築地君の書にくれた

近況報告

● 高校三年生の授業を受け持っているので、進学指導や何やら頭のいたい忙しくてパニックしそうな頃です。教師になって三年目でやっと、生徒との接し方のコツみたいなものがわかってきたような気がします。

● 五月に車を買ったので、行動範囲がずいぶん広がりました。全部で十二万円という超持価でしたが、故障もせずちゃんということを書いて動いてくれています。

● この四月からは、ワンダーフォーゲル同好会の顧問になり、夏には生徒をつれて早池峰、裏岩手、八幡平、岩手山をのんびり歩いてきました。又、文部省の顧問からかわったのを機会に、少しは暇ができたので、一緒に登る仲間が欲しかったので、社会人山岳会に入りました。が、ひんぱんなことから山岳競技をはじめることになり、ついこの間まで福岡で行われた団体に出場し、何とかギリギリ総合8位に入賞してきました。6月から10月まで、トレーニングを兼ねて、とにかく毎週末、山に登り、山行白数はざっと数えただけで既に40日を越えており、もう、きつがいみたいに登っています。最初は、山岳競技なんて邪道だ!!なんて思っていたのですが、今は出て良かったと思います。何と云っても山仲間がたくさんできました。短期間で、岩の技術や、体かなどを身につけられたからです。

● 同期の市川君が、この12月にめでたく結婚するそうです。おめでどう!! 私たちの代ではぬです。

27期卒業生「当分は山が恋人の白幡彩」でした。

謙足もお元気のよー存じます。私も立七歳にちよりのころ、元氣で在りて海大は満義と大いそ院研究を専ら長の仕事をしておりました。週に一回車ま、仙石谷を往復し、三日おしし四日は町田で自炊と外食の生活をしていました。

鈴木緑弥先生(元部長)の手紙の一部です。

輝政 大変ご無沙汰しております。現在仙台に家族を置き、青森で単身赴任をしています。先日 家族で卒業以来始めて、二口深谷の紅葉を見に行ってきました。久しぶりに見る磐司岩や秋保大滝の紅葉はとて素晴らしいです。ただ車の多さにはびっくりしました。山形に抜けられると聞いていたので、ここなら穴場ですいていると思い4WD車で行きましたが、大きな間違いで車の行列でした。

仙台に戻った時に、泉パークタウンのゴルフ練習場へ時々行っていますが、同期の国岡君に会います。今度同期の仲間とゴルフコンペをしたいと思っていますが、いつのことになりますやら。

青森や仙台においでの際は、ご連絡下さい。

敬 具

真尾 征雄 (7期)

T.U.W.V. OB会報 毎回 懐かしく
拝見いたしております
先輩、後輩が各方面で活躍している
様子 何よりです。

さて、当方は特にご披露するよう有事は
何もない平々凡々の生活を送って
おります。ただ体力の衰えが
気になりますので 毎週、土曜日は
近所のテニスコートで親友で
テニスを楽しんでおります
「山」は「報告」のOB会報で接好のみ
実際の「山」はだんだん遠くなりまして。
諸名の御活躍を祈っております
39年卒 岡 好宗

前略 皆様ごきげんいかがですか

私の住む愛媛県新居浜市には、住友グループ
発展の礎となった別子銅山があり、今年には開坑
三百年を迎えます。そこで先月から「検証あか
がねの城下町」の題で、愛媛新聞に連載を書い
ています。取材班は四人で、三十回程度になる
予定。銅山のある赤石山系（主峰・東赤石、17
07m）には、一年で五回登りました。（もちろ
ん歩いて）
また今年の正月には、長谷川（26期）と正田
（27期）の三人で西日本最高峰の石鎚山に登山。
「90年代の幕開けを告げる初日の出」を山頂
で撮影し、カラー写真を3日付の紙面に載せま
した。仕事からみでしか山に登らない怠惰な生
活を続けています。

なお、来年9月の連休に26期の「部会」を「
どこかの山小屋」で開く予定で、いま準備を進
めています。
仙台市青葉区下愛子字下原、11の1
'90.11.5 青野登喜子(41年卒)
仙台市議会議員(392)3599

私自身は、今年 30才になる直前に「結核」現在、朝霞市
（埼玉県）に往んでいます。昨年、北ハケ岳の周辺まで「遊び」に行っていました。
山にも年に何回かは登るよう努力しており、今年、南アルプス（塩見（比呂）へ行って来ました。同期のものも
山だりひはなく、カヌー等他のアウトドアスポーツに情を出している
ようです。同期の往所録を同封致します。今後共、よろし
くお願いします。

早々

平成二年十月二十一日

258 卒

官野 厚

不

26期 伊田浩之

cc 2018 伊田浩之

新年会のお知らせ

新年会は毎年1月の最終金曜日（平成3年は1月25日（金）19:00から）、新橋駅のすぐ近くにある新橋亭（しんきょうてい）で行っています。皆さんお誘いの上ご出席下さい。特に、若い人の出席は大歓迎です。会費は8000円位の予定です。年が明けたら、各代の連絡係の方を通じて出欠を調べますので、よろしくお願ひします。

遠くの方でも、東京に出張などで来るような場合には、ぜひ出席して下さい。飛び込み大歓迎です。反対に、出席ということになっているのに、当日欠席される方も結構います。これは本当に幹事泣かせです。予定が変わった時は、早めにご連絡下さい。

問い合わせ、連絡先 佐藤拓哉 Tel 0468-41-8622

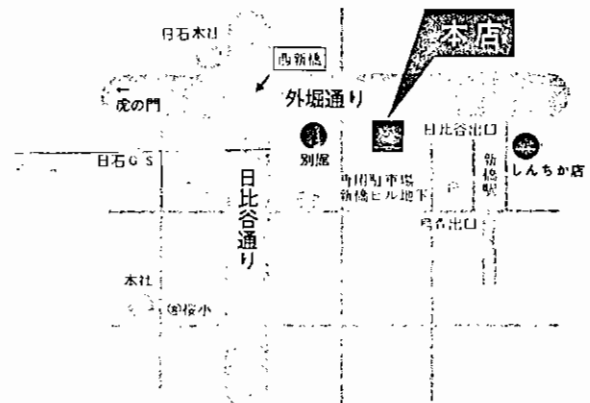
平成2年新年会出席者

(S39) 後藤龍男、松木功 (S40) 及川捷、
小原佑一、島崎質、野村紘一 (S41) 朝倉宏保
(S42) 田中実、加藤邦明、斎藤進、渡辺文隆、
青木祐二 (S43) 五十嵐惇和、石川誠之、
金子清敏、高橋直樹 (S44) 小笠原弘三、
京野忠、佐藤拓哉、濱聡、水上俊彦
(S45) 石野好昭、伊藤健一、富川正夫、
原田博夫、桃谷尚安 (S46) 甲斐利春、
黒田和雄、菅原英行、高野秀夫、若佐則雄
(S47) 秋田修、真鍋保 (S49) 村山英司
(S53) 青木周司、石坂安雄、田沼唯士
(S55) 板橋正之 (S58) 利根川敏
(S63) 泉信也

中国料理 **新橋亭**

本店 東京都港区新橋2-6-3 〒105
TEL (03) 580-7811

年中無休 12:00P.M~9:30P.M



平成2年会計報告

収 入	
繰越金（東京）	579,850
繰越金（仙台）	88,108
OB 会費	37,000
利 息	1,332
計	706,290
支 出	
新年会補助	13,292
新年会案内	1,080
会報N020号	33,818
次年度繰越	658,100
計	706,290

★★ 編集後記 ★★

- ◇ 会報21号をお届けします。深田久弥の日本百名山を読んだ人は多いと思います。今回は、その一つ一つを登った三日月君の記事を載せました。新年会で記念品を送ろうと思っています。ご了承下さい。百名山のうちいくつ登っていますか。ちなみに、私は35、女房は28でした。秋田駒や栗駒が入っていないのは寂しい気がします。
- ◇ 年会費は1000円です。1ページ目の口座に振り込んで下さい。最近、新年会に参加した人から集めているだけという状態です。
- ◇ 住所変更した人は佐藤までお知らせ下さい。
- ◇ 新年会で会いましょう。